

NEWS LETTER No.54

「行動規範」と「多様性向上に向けた数値目標」の策定について

JVCAにおきましては、これまで、D&I推進への抜本的な改革へ取り組むことは業界全体の持続的な成長と競争力向上に対して、極めて重要な意味を持つことが明らかであることから、業界におけるダイバーシティ&インクルージョン(以下、D&I)の推進を目的とした各種施策に取り組んで参りました。2021年にはD&I室を新たに設置し、啓蒙活動を目的とした会員向け勉強会の開催や各種提言などを行いながら、業界におけるD&I推進を行なっております。

この度、従来のD&I施策をさらに一歩進め、新たなダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン(以下、DE&I)推進策及びそのガイドラインなどの策定を行っております。特に、理事/委員メンバーにおける多様性の向上はDE&Iを推進するための重要課題と認識しており、多くの理事/会員の皆様と議論を重ね、具体的な数値目標を策定しました。

<多様性の向上に向けた数値目標設置>

JVCA理事/委員メンバーにおける多様性向上のため、マイノリティ*比率を以下のとおり定め目標達成を目指します。

- ・JVCA理事会メンバーにおけるマイノリティ比率を30% (2024年7月定時会員総会までに達成)
- ・JVCA委員会メンバーにおけるマイノリティ比率を30% (2024年7月定時会員総会までに達成)

※ここでのマイノリティとは女性、外国籍の方、障がいを持つ方、LGBTQ+、40歳未満の方を指します。

また、今後策定する各種推進策やガイドラインのベースとなるJVCAとしての「DE&I行動規範」についても今般策定しておりますので、以下のとおり報告させていただきます。

<DE&I推進のための行動規範>

以下の行動規範に則り、今後、会員向けのDE&I推進のための具体的なガイドライン策定やDE&ITトレーニングなどを進めて参ります。

- ・DE&Iに対する基本的な考え方
あらゆる形態のハラスメントや差別がなく、多様性・公平性・インクルージョンを促進する、プロフェッショナルで尊敬に値するベンチャーキャピタル業界を育成することを約束します。
- ・ハラスメントが起こらない環境の実現
セクシャルハラスメント・パワーハラスメントといった、人種・性別・宗教・年齢・性的指向・障がいなど保護されるべき特性に基づく不適切な行為を含むハラスメントが起こらない環境の実現を目指します。
- ・差別が起こらない多様で包括的な環境の実現
採用・報酬・昇進・配属などにおいて、また投資判断の際などにおいて、いかなる形態の差別が起こらない環境の実現を目指します。また、スタートアップエコシステムにおける全ての参加者の視点と経験を尊重し、多様で包括的な環境の実現を目指します。
- ・DE&ITトレーニングと教育の継続的な提供を実現
ハラスメントや差別を防止し、多様性・公平性・インクルージョンを促進するため、より効果的なDE&ITトレーニングと教育を会員に提供し続けることを目指します。

なお、DE&I推進策の実行にあたっては、会長・副会長・D&I室長からなる「DE&I委員会」を組成し、これを推進いたします。また、その推進状況のモニタリングはD&I室を新たにDE&I室と名称変更して実施致します。

DE&I推進への積極的な施策実行の背景には、業界全体の持続的な成長と競争力の向上により「2027年までに、上場・非上場含むスタートアップの株式時価総額の合計額を100兆円規模とする」という協会目標がございます。JVCAにおける多様性向上のため、共通の理念と目標を抱えて前進することで、更なる業界の発展へ向けて歩みを進めたいと考えております。会員の皆様におかれましては、改めてこれら施策へのご理解とご協力をお願い申し上げます。

JVCA第21回定時会員総会&講演会（2023/7/14）ならびに新理事監事体制

去る7月14日に第21回JVCA定時会員総会&講演会を会場とオンライン参加のハイブリッド方式で開催し、会員様を中心に約350名の皆様にご参加いただきました。

JVCAは22期を迎え、4年間協会の会長を務めた赤浦会長、中野会長が退任となり、郷治会長、田島会長が新たに就任しました。当日は21期の活動報告、22期新体制と新たな目標および活動方針をご紹介した後、「機関投資家からみたVCアセットクラス～年間1,000億円の機関投資家マネー流入に向けて～」 「大企業によるスタートアップM&Aを促進するために」 「メガスタートアップ創出に向けて～宇宙産業の可能性～」の3つのパネルディスカッション、続いて経済産業省様、金融庁様からのスピーチ、さらにJVCA賞授与式、懇親会を行いました。

また2024年1月31日臨時会員総会にて、理事6名が新たに就任し以下の体制となっております。JVCAは、業界の健全な発展、および日本経済の発展に寄与すべく活動して参ります。

新たな目標

「2027年までに、上場・非上場含むスタートアップの株式時価総額の合計額を100兆円規模とする」

新たな活動方針

VCが我が国の新産業創出の牽引者となり、多様で持続可能なスタートアップエコシステムの実現に貢献する

1. 投資マネーの拡大

国内外の機関投資家から必要とされる情報の提供やデータの整備に取組みつつ、投資マネーの調達とそのスタートアップへの供給を大規模に拡大する。

2. 資金循環の促進

スタートアップの資金調達手段及び投資家のエグジット手段の多様化を図るとともに、大企業のCVC活動やスタートアップM&Aを支援することを通じ、新産業創出のための資金循環を促進する。

3. スタートアップエコシステムの拡充

スタートアップから次世代を代表する企業が持続的に創出されるエコシステムを拡充するべく、中長期を見据えた政策に官民一体となって関与するとともに、活動の成果を可視化する。

<第21期理事監事体制>

会長	郷治 友孝	株式会社東京大学エッジキャピタルパートナーズ (UTECH) / 代表取締役社長CEO・マネージングパートナー
会長	田島 聡一	株式会社ジェネシア・ベンチャーズ 代表取締役・General Partner
副会長	渡辺 洋行	B Dash Ventures 株式会社 代表取締役社長
専務理事	高野 真	D4V合同会社 CEO兼GP / リンクタイズ株式会社 代表取締役CEO 兼 Forbes JAPAN Founder
常務理事	松本 季子	ジャフコグループ株式会社 執行役員
常務理事	林 龍平	株式会社ドーガン・ベータ 代表取締役パートナー
常務理事	山岸 広太郎	株式会社慶應イノベーション・イニシアティブ 代表取締役社長
理事	平野 清久	大和企業投資株式会社 代表取締役社長
理事	山中 卓	i-nest capital株式会社 代表取締役社長 / 代表パートナー
理事	今野 穰	グロービス・キャピタル・パートナーズ株式会社 代表パートナー
理事	南場 智子	株式会社デライト・ベンチャーズ 代表取締役 / 株式会社ディー・エヌ・エー 代表取締役会長
理事	近藤 裕文	株式会社サイバーエージェント・キャピタル 代表取締役 / 株式会社サイバーエージェント 執行役員
理事	諸永 裕一	株式会社産業革新投資機構 (JIC) 取締役 CSO
理事	白木 信一郎	あいざわアセットマネジメント株式会社 代表取締役社長 / アイザワ証券グループ 取締役
理事	西條 晋一	XTech Ventures株式会社 代表パートナー
理事	キャシー 松井	MPower Partners ゼネラル・パートナー
理事	葛西 洋一	三菱UFJキャピタル株式会社 代表取締役社長
理事	新美 正彦	DBJキャピタル株式会社 代表取締役社長
理事	村田 祐介	インキュベイトファンド 代表パートナー
理事	松本 真尚	株式会社Wil ゼネラルパートナー兼共同創業者
理事	岡橋 寛明	みやこキャピタル株式会社 代表取締役社長 パートナー
理事(新任)	佐藤 真希子	株式会社iSGSインベストメントワークス 代表パートナー
理事(新任)	井上 智子	オムロンベンチャーズ株式会社 代表取締役社長
理事(新任)	頼 嘉満	株式会社UB Ventures General Partner
理事(新任)	服部 結花	インクルージョン・ジャパン株式会社 代表取締役
理事(新任)	小池 藍	THE CREATIVE FUND, LLP 代表パートナー
理事(新任)	木村 亮介	ライフタイムベンチャーズ合同会社 代表パートナー
監事	阿部 博	有限責任あずさ監査法人 常務執行理事 企業成長支援本部 インキュベーション部長 パートナー / KPMGジャパン プライベートエンタープライズセクター スタートアップ統轄パートナー / 公認会計士
監事	齊藤 直人	EY新日本有限責任監査法人 企業成長サポートセンター センター長 IPOグループ統括 パートナー 公認会計士
監事	只隈 洋一	有限責任監査法人トーマツ パートナー IPO戦略推進室長 公認会計士
最高顧問	仮屋 聡一	グロービス・キャピタル・パートナーズ株式会社 共同創業パートナー
特別顧問	赤浦 徹	インキュベイトファンド 代表パートナー
特別顧問	中野 慎三	伊藤忠テクノロジーズベンチャーズ株式会社 取締役 パートナー



(2024年1月31日臨時総会後・写真は2023年7月総会時点)

国内VCパフォーマンスベンチマーク第5回調査発表

VC会員54社177ファンドのデータを提供いただき、2022年末時点で洗い替えを行ったVCパフォーマンスベンチマークの第5回調査を発表いたしました。結果は表のとおり、国内VCの好調な運用成績を示す格好となりました。国内VCファンドの会計・評価基準はGP毎にいくつかの手法が用いられますが、公正価値評価を採用しているファンドもしくは180日以内の直近ファイナンス価格で評価しているファンドの割合は本数ベースで53%、金額ベースで77%を超えており、国際比較に耐えるGPが増えつつあります。データを提供いただいた下記VC各社には厚く御礼申し上げますと共に、引き続きご協力をお願い申し上げます。

図表2: 中央値ベンチマークテーブル (2022年12月末時点) **

ビンテージ	ファンド数	PIC (%)	DPI (%)	RVPI (%)	ネットIRR (%)	ネットマルチプル (X)
2010年	3	100.0	214.6	0.0	11.7	2.15
2011年	7	100.0	133.0	20.7	22.0	3.16
2012年	3	100.0	323.6	109.7	28.7	4.62
2013年	7	100.0	159.8	49.1	14.4	2.27
2014年	6	100.0	98.3	103.9	12.8	1.98
2015年	18	100.0	42.8	112.2	14.1	1.98
2016年	15	100.0	15.6	99.5	10.7	1.55
2017年	11	100.0	2.9	133.8	9.6	1.43
2018年	22	100.0	5.7	130.1	16.7	1.52
2019年	16	90.0	2.5	100.8	3.7	1.05
2020年	17	50.3	0.0	95.1	n/m	0.95
2021年	11	39.8	0.0	91.2	n/m	0.91
2022年	18	17.4	0.0	96.5	n/m	0.97

**必ずしもIFRS, US GAAP, FAS 157, またはIPEVガイドラインに従った公正価値に基づく指標ではないため、これらの指標は他国または他地域との国際比較には適さない。

■ファンドデータご提供会員企業54社

アーキタイプベンチャーズ株式会社 / i-nest capital株式会社 / 株式会社アコード・ベンチャーズ / 朝日メディアラボベンチャーズ株式会社 / 株式会社ANOBACA / Abies Ventures株式会社 / ANRI / 伊藤忠テクノロジーベンチャーズ株式会社 / インキュベイトファンド / SBIインベストメント株式会社 / 株式会社Mpower / Angel Bridge株式会社 / 大阪大学ベンチャーキャピタル株式会社 / 株式会社環境エネルギー投資 / 京都大学イノベーションキャピタル株式会社 / グロービス・キャピタル・パートナーズ株式会社 / XTech Ventures株式会社 / 株式会社慶應イノベーション・イニシアティブ / 株式会社ケップルキャピタル / Coral Capital / 株式会社サムライインキュベイト / 株式会社ジェネシア・ベンチャーズ / ジャフコグループ株式会社 / 新生キャピタルパートナーズ株式会社 / STRIVE株式会社 / スパークス・アセット・マネジメント株式会社 / スパークス・イノベーション・フォー・フューチャー株式会社 / Spiral Capital株式会社 / 栖峰投資ワークス株式会社 / 大和企業投資株式会社 / D4V合同会社 / 株式会社ディープコア / DIMENSION株式会社 / 株式会社東京大学エッジキャピタルパートナーズ(UTEC) / 東北大学ベンチャーパートナーズ株式会社 / 株式会社ドーガン・ベータ / DRONE FUND株式会社 / 日本ベンチャーキャピタル株式会社 / Partners Fund / B Dash Ventures株式会社 / Beyond Next Ventures株式会社 / 株式会社ファストトラックイニシアティブ / 株式会社FINOLAB / フェムトパートナーズ株式会社 / Bonds Investment Group株式会社 / みやこキャピタル株式会社 / 株式会社みらい創造機構 / 合同会社MIRAISE / mint / モバイル・インターネットキャピタル株式会社 / 株式会社UB Ventures / ユナイテッド株式会社 / ユニバーサル マテリアルズ インキュベーター株式会社 / リアルテックホールディングス株式会社 (社名五十音順)

海外機関投資家への訪問 (2023/5)

海外機関投資家との面談を行うため、理事等による機関投資家を訪問する海外渡航を行いました。目的は①日本のVC業界全体のアピール②海外機関投資家が日本VCをどう見ているかのスタディ③海外機関投資家と国内GPとのマッチングの3点です。2022年11月シンガポールに続き2回目となる今回は2023年5月にロンドンへ渡航しました。現地ではLondon Business Schoolのカンファレンス「Private Capital Symposium」にスポンサーシップを行って参加し、パネルディスカッションに登壇したことに加え、個別面談で9社の海外機関投資家と接点を持つことができました。今後こうした活動を継続し、日本のVC業界全体についてのPRを行う重要性を再認識しました。JVCAでは、海外機関投資家から国内VCアセットクラスへの運用資金流入を目的として今後も活動して参ります。



VCファンド公正価値評価勉強会～ファンドの公正価値評価を実施・試行する公認会計士とキャピタリストの集い～

公正価値評価を採用するGPを増やすことを目的に、実務上のプラクティスを共有し合う勉強会を12月5日に開催いたしました。投資事業有限責任組合における会計上及び監査上の取扱いの改正点、公正価値評価を導入するにあたって監査法人とどのように協議していくのかについて講演いただき、パネルディスカッションでは、登壇者として既に公正価値評価を採用しているVCのGPとそのVCのファンド監査を担う監査法人をお招きして、公正価値評価の導入方法、いかに双方の工数を下げながら意味のある監査を行っていくかについてお話いただきました。当日は200名を超える方々にお越しいただき、また、本勉強会はPwC Japan有限責任監査法人様、EY新日本有限責任監査法人様、有限責任 あずさ監査法人様、有限責任監査法人トーマツ様に後援いただき、非常に熱量の高い勉強会となりました。



LP研究会・JVCA共催セミナー ～機関投資家からみた国内VC-GPへの期待とは～（2023/11/14）

11月14日に「LP研究会・JVCA共催セミナー～機関投資家からみた国内VC-GPへの期待とは～」を開催しました。VCパフォーマンスベンチマークの作成の為に個社データをご提供いただいた各社のみを参加対象とし、LP投資家との直接の接点づくりとして行ったイベントです。前半では最新のベンチマークのご説明ならびに資金調達手段の一つとしてのベンチャーデットの講演を行いながら、後半では機関投資家LPの方とGP受託者の方双方にパネルディスカッションに登壇いただき、機関投資家LPの方からは国内VCアセットクラスをどのように見ているか、VCファンド投資の際に重要なポイントや当該アセットクラスへの期待について、GPの方からはグローバルというキーワードにおける最近のVCトレンドやVC業界における新たな取り組みについてお話いただきました。懇親会でも多くのGP・LPの方にご参加いただき、有意義なネットワーキングの機会になりました。



政策提言活動

JVCAでは内閣府および経済産業省と連携して、会員VC/CVC各社の投資先企業様から公共調達を提案する試みを行いました。会員各社から募った結果、50社以上の会員VC/CVCの投資先スタートアップから、300件以上の公共調達を提案することができました。これを受けて経済産業省では「行政との連携実績のあるスタートアップ100選」と題するカタログを発行し、各省庁・独立行政法人・自治体等の参照に供することで、スタートアップからの公共調達を個別に促進していく方針であると伺っております。また、2023年11月28日・29日に内閣府主催で、機動性のあるスタートアップの新技术による社会・行政課題の効率的な解決と公共調達を活用したスタートアップの育成を目指したマッチングピッチイベント「マッチングピッチ2023」が開催されました。これはスタートアップ企業の公共調達を促進する上で、大変有益な機会となりました。

VCナレッジ部会 勉強会 (2023/4/11、5/17、7/25、8/29、9/6、11/20、12/11)

VCナレッジ部会では、以下の2種類の勉強会を行っています。

<定例勉強会>

4月11日135回定例勉強会「流動化検討時におけるセカンダリーファンドの活用について」を開催しました。前半はセカンダリーファンドの手法やメリット・デメリットなどについてBee Alternatives Limited井野口敦彦氏にご講義いただき、後半は同乙訓史樹氏、ハミルトン・レーン北尾智子氏、イー・アイ・キャピタル佐村礼二郎氏、あいざわアセットマネジメント白木信一郎氏、平野清久JVCA理事/VCナレッジ部会に登壇いただきパネルディスカッションを行いました。

5月17日株式会社東京証券取引所(株式会社日本取引所グループ)/JVCA 共催イベント「東証IPO セミナー」を、4年ぶりに東証ホールにて開催いたしました。前半は、上場審査基準の見直しについて等を東証様からご説明いただき、後半は前年に上場されたマイクロ波化学株式会社吉野巖氏と、東京大学エッジキャピタルパートナーズ(U TEC) 黒川尚徳氏、東京証券取引所宇壽山図南氏にご登壇いただき、上場当日の様子や上場までのご苦労などをお話いただきました。

7月25日第137回定例勉強会「トークン投資の実務と留意点」と題し、暗号資産やセキュリティトークン、ステーブルコインなどのデジタル資産法制やDAO(分散型自律組織)の法制度に詳しい森・濱田松本法律事務所の増島雅和先生にご講義いただき、約100名の皆様にご参加いただきました。

8月29日には、毎年行っているハラスメント勉強内について第138回定例勉強会「アフターコロナで求められる、ハラスメントに対するリスクマネジメント ～パワーバランスを意識した行動をとるために～」と題し、今年もAZX総合法律事務所雨宮美季氏からの概要説明及び、五嶋一人JVCA VCナレッジ部会委員との対談、質疑応答を行いました。

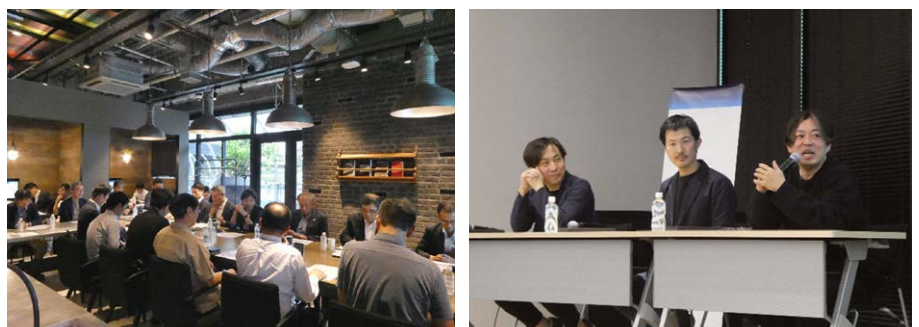
12月11日は第139回定例勉強会&忘年会～2023年VC業界を振り返り～を開催し、ベンチャーエンタープライズセンター黒田啓征氏によるプレゼンテーションの後、郷治友孝JVCA会長、田島聡一会長、山岸広太郎常務理事、キャシー松井理事、中野慎三特別顧問が登壇し業界の1年を振り返り、最後の懇親会にて1年を締めくくりました。



<ナレッジ勉強会>

9月6日金融機関の傘下にあるVCを金融系VCとして、「金融系VC懇談会」を開催し、約30名の皆様にご参加いただきナレッジ共有、ご交流いただく機会といたしました。

11月20日ナレッジ勉強会「スタートアップ人事トレンドを語る」を開催し、近年のスタートアップ採用市場の変化や採用についての考え方・手法などをテーマに、ナレッジワーク麻野耕司氏、LayerX石黒卓弥氏、グロービス・キャピタル・パートナーズ小野壮彦氏、志水雄一郎JVCA VCナレッジ部会委員に登壇いただきパネルディスカッションを行いました。



大企業連携部会 勉強会 (2023/2/15、3/29、6/27、9/11、11/24、12/15)

大企業連携部会では、CVCならではの課題ならびにその解決に向けた相互啓蒙とネットワーキングを目的として、以下の勉強会を行いました。

<CVC Open Innovation Forum>

2022年度は2023年2月15日に約3年ぶりにリアル開催し、現地・オンライン合わせて約150名の皆様にご参加いただき、2つのパネルディスカッションの内、前半「CVC運営」では、ヤマトホールディングス足立崇彰氏、東京海上ホールディングス楠谷勝氏、NTTドコモ・ベンチャーズ笹原優子氏よりCVC立ち上げの経緯や事業部との連携、人材確保など、CVC運営のベストプラクティスの共有を、後半の「新規事業開発」では新規事業家守屋実氏、インキュベーションオフィサー渡瀬ひろみ氏、VC、それぞれの視点から新規ビジネス創出の仕方やサポート事例を語っていただきました。

2023年度は2023年12月15日に開催し、現地・オンライン合わせて約180名の皆様にご参加いただき、パネルディスカッションおよび対談を実施し、前半のパネル「事業会社によるスタートアップ投資とM&Aが目指すこと」では、クボタ社村克志氏、住友商事浪花隆氏よりCVC運営の要諦ならびにスタートアップのM&Aの各社事例をご紹介いただき、後半の対談「大企業におけるイノベーションの在り方」では、ソニーグループ十時裕樹氏にご登壇頂き、起業ならびにSo-net新規上場のご経緯や大企業においてイノベーションをもたらすスタートアップとの連携について語っていただきました。

<CVC Open Innovation Forumフォローアップイベント>

2022年度は、2023年6月27日にCVC会員様対象に「CVC/Open Innovation Forumフォローアップイベント」を約3年ぶりに開催し、約50名の方にご参加いただきました。前半はCVC活動におけるディスカッションを大企業連携部会メンバーとともに、全員参加型にて行い、後半は懇親会を実施しました。

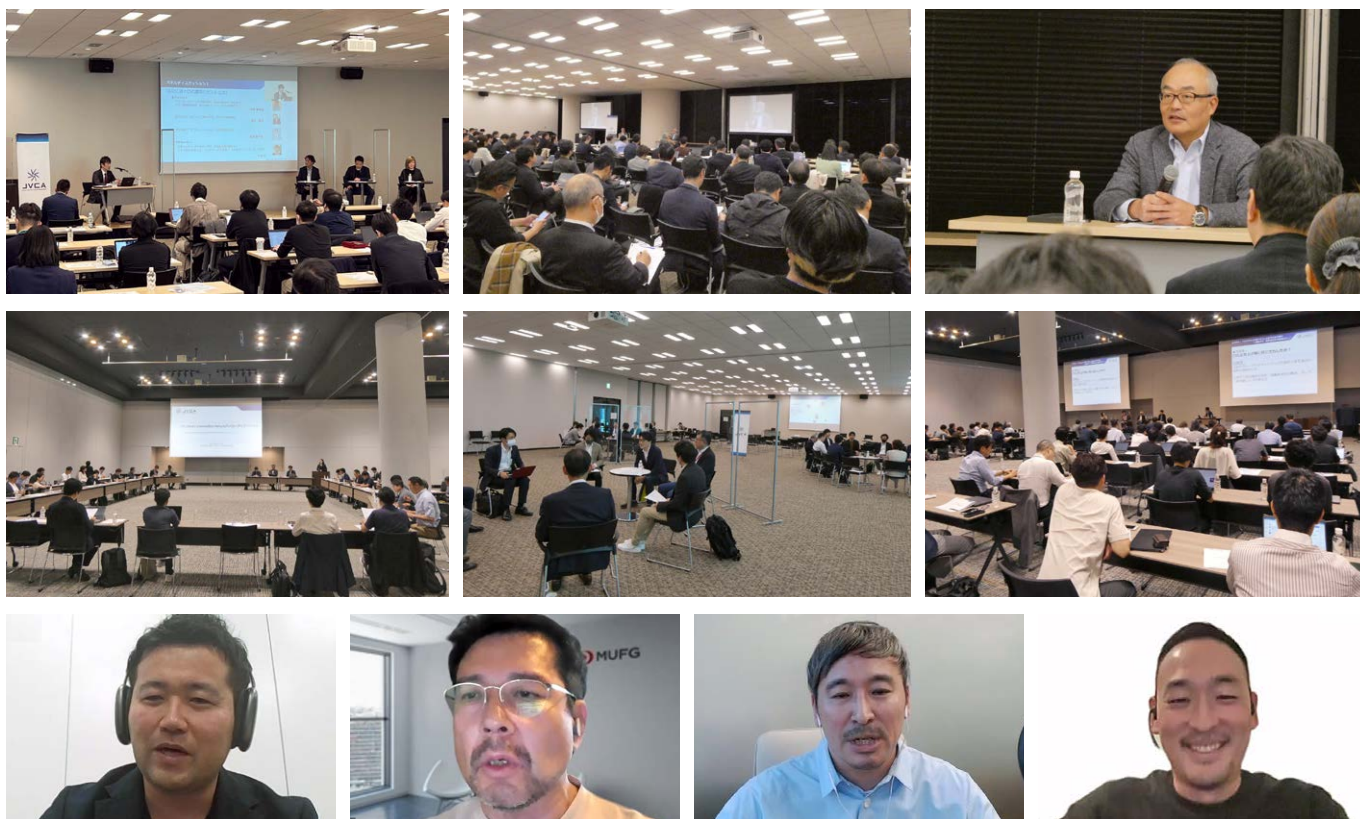
<CVC新規会員懇談会>

2023年3月29日に約4年ぶりに開催し、当日は前回開催以降に入会されたCVC会員企業約30社（1社1名）の皆様にお越しいただき、前半は仮屋園聡一JVCA名誉会長、村田祐介JVCA企画部長を迎え、VCから見た「投資環境」「注目領域」「事業会社への期待」についてお話いただき、後半は座談会形式にて大企業連携部会メンバーを交え、CVC活動の取り組みや悩み・課題など、情報共有ならびに意見交換を行いました。

<CVC会員勉強会・大企業連携 / CVCセミナー>

2023年9月11日に、CVC会員勉強会として、「CVCの立ち上げとその軌跡を語る」を開催し、前半は「CVC立ち上げ期に注力した各社の取り組み～組織作り・投資実行から運営まで～」と題して、オムロンベンチャーズ井上智子氏、JR東日本柴田裕氏、博報堂DYホールディングス徳久昭彦氏、三井不動産小玉丈氏をお迎えし、CVCを立ち上げられた際のご苦労や工夫、成功のポイントなどをお話いただきました。

2023年11月24日に大企業連携/CVCセミナーとして、「協業を加速するCVC活動とスタートアップM&Aの実践～」と題し、マネーフォワード金坂直哉氏、三菱UFJイノベーション・パートナーズ鈴木伸武氏、KDDI中馬和彦氏より事業会社本体とスタートアップとの協業を一層促進するCVC活動の在り方や、本体によるスタートアップの買収に繋がった事例についてお話いただきました。



産学連携部会 勉強会 (2023/1/31、3/28、7/5)

産学連携部会では以下の勉強会を行いました。

<大学発スタートアップ創出シンポジウム>

2023年1月31日に文部科学省との共催にて「大学発スタートアップ創出シンポジウム2022 ～産学官連携によるスタートアップ・エコシステムの発展にむけて～」を東京大学伊藤謝恩ホールならびにオンラインにて開催し、350名を超える方々にご参加いただきました。

基調講演では「科学技術イノベーション実現に向けた、大学とスタートアップ・VCへの期待」について、総合科学技術・イノベーション会議 上山隆大氏に、パネルI「大学セッション」では 東京理科大学イノベーション・キャピタル片寄裕市氏、徳島大学北岡和義氏、ライフタイムベンチャーズ木村亮介氏、パネルII「地方エコシステムセッション」では九州大学大西晋嗣氏、QBキャピタル坂本剛氏、サイフューズ秋枝静香氏、福岡市紫垣和宏氏、パネルIII「大学発スタートアップセッション」ではesa枝吉宣輝氏、H2L玉城絵美氏、PuREC高橋英之氏に登壇頂きました。このほか、VC/CVCピッチおよびブース出展を行いました。

<産学連携/技術投資セミナー>

2023年3月28日に「産学連携/技術投資セミナー～プログラム医療機器開発企業のIPO サスメド上野社長に聞く～」を開催しました。サスメド上野太郎氏ならびにBeyond Next Ventures 植波剣吾氏をお招きして、事業のご紹介や新規ビジネスモデルに関する東証および主幹事証券との対話、着実なニュースフロー（製品承認等）やIRによる上場後の堅調な株価形成のポイント等についてお話を伺いました。

2023年7月5日に「産学連携/技術投資セミナー～ゲノム技術スタートアップ オリシロのモデルナへのM&A Exitの軌跡～」を開催しました。オリシロジェノミクス末次正幸氏および東京大学エッジキャピタルパートナーズ佐美篤氏をお招きし、事業のご紹介の他、創業期からの技術開発や事業の進展の軌跡ならびにモデルナ社によるM&Aを選択された経緯、リードVCとしての当初の投資戦略やその後の成長支援などについてお話を伺いました。



地方創生部会 セミナー (2023/4/7)、VCトップ懇談会 (北陸) (2023/11/10)

地方創生部会では、地域のエコシステム活性化を通して、地域経済さらには日本経済の発展に寄与するべく活動しております。今期は以下2つのイベントを行いました。

<地方創生セミナー>

「スタートアップM&Aを増やすために求められることは?～JVCA地方創生部会セミナー～」と題して、M&Aを果たされた起業家や、M&Aアドバイザーの方等にご登壇いただき、M&Aのご経験や地方のスタートアップM&Aの実情等をお話いただきました。

<地方創生VCトップ懇談会>

地域におけるVC各社の関係強化を目指して毎年開催している「地方創生VCトップ懇談会」を、今年度は北陸にて開催いたしました。

冒頭、田島聡一JVCA会長の挨拶に続き、経済産業省様、金融庁様、中小企業基盤整備機構様、東京証券取引所様より地方のベンチャーエコシステム活性化に関わる政策や制度などをプレゼンテーションいただきました。その後、「スタートアップとの連携による地域経済活性化の可能性」、「北陸におけるスタートアップエコシステムの現状」、「地域のスタートアップエコシステムにおける金融機関の役割」の3セッションを、最後に会場参加の皆様から、近況報告や感想などを一言ずつ頂戴し、4年ぶりに懇親会を行いました。当懇談会開催に先立ち地元起業家との交流イベント及び、翌日はJVCA会員有志にて鯖江見学も行い、北陸のベンチャーエコシステムへの理解とご関係の皆様との交流を深めることができました。



グローバル部会 勉強会 (2023/1/13、2/17)

2023年1月13日に、グローバルセミナー「Learning from global players' viewpoints ~日本のスタートアップ海外進出の可能性~」を開催しました。日本国内で活躍されている外資アクセラレーターと海外CVC/VCの方々をお招きし、国内スタートアップの海外進出を後押しされている各社のお取り組み紹介ならびに日本のスタートアップの可能性やスタートアップ投資の魅力について議論しました。

2023年2月17日に、グローバルウェビナー「Learning from global Web3 leaders~Web3 のビジネスチャンス、法規制の今後と投資への影響~」を開催しました。Quantstamp Richard Ma氏、Coinbase北澤直氏、自民党衆議院議員 塩崎彰久氏をお招きし、web3におけるスタートアップのビジネスチャンスや規制の方向性、VCとしての投資チャンスをテーマにお話を伺いました。



2023年CVCキャピタリスト研修 (パイロット版: 4月13日~4月14日 秋季: 11月16日~11月17日)

2023年より、新たに事業会社/CVCに特化したマインドセット・知識・スキルの習得・向上を目的とした「CVC研修」を企画し、4月のパイロット版を経て11月に実施いたしました。パイロット版では、過去5年で大企業連携部会の勉強会に登壇いただいたスピーカーが在籍されるCVC会員様限定で招待し、14名の皆様にご受講頂きました。秋季より会員企業の皆様に拡大して募集をし、23名の方にご受講いただきました。CVCにおける投資活動、協業創出活動に関する講義や、海外CVCのプラクティスを通して、事業会社/CVCに特化したマインドセット・知識・スキルを学ぶことができました。懇親会でも、受講生同志の活発な交流から学びを深めていただくことができました。

テーマ	講師	
コーポレートベンチャリング概論 / 講義	秋元信行	AT PARTNERS 株式会社 Co-Founder and General Partner / JVCA フェロー
コーポレートベンチャリングに関する取り組み紹介 / 対談	榑崎浩一氏	SONPO ホールディングス株式会社 デジタル事業オーナー 執行役専務
CVC (投資実務) / 講義	岡洋氏	Spiral Capital 株式会社 代表パートナー
	鎌田和博氏	Spiral Capital 株式会社 パートナー
海外 CVC トレンド / 講義	Liz Arrington	Managing Director - GCV Institute Partner, Bell Mason Group
海外 CVC 企業の取り組み紹介 / パネルセッション	安永謙	株式会社 Global Hands-On VC ファウンダー & マネージング・パートナー / JVCA グローバル部会長
課題共有 / ワークショップ	仮屋 蘭聡一	グロービス・キャピタル・パートナーズ株式会社 共同創業パートナー / JVCA 最高顧問
	秋元信行	AT PARTNERS 株式会社 Co-Founder and General Partner / JVCA フェロー
	近藤裕文	株式会社サイバーエージェント・キャピタル 代表取締役・株式会社サイバーエージェント 執行役員 / JVCA 理事・大企業連携部会長
	土川元	ソニーベンチャーズ株式会社 代表取締役社長兼チーフインベストメントオフィサー / JVCA 大企業連携部会長
	小玉文	三井不動産株式会社 ベンチャー共創事業部 共創業務グループ グループ長 / JVCA 大企業連携部会委員
	世本康太郎	電通ベンチャーズ マネージング・パートナー / JVCA 大企業連携部会委員

(敬称略・肩書は開催時点)



2023年初級キャピタリスト研修 (春季: A日程5月11日~13日/B日程 6月8日~10日 秋季: 8月31日~9月2日)

春季は過去最高の170名、また秋季でもほぼ満席の79名の方にご受講頂き、ソーシングからEXITまでVCにとって必要不可欠なプロセスを学んでいただきました。

今年からは懇親会も復活することができ、講義以外の場でも受講者同士で交流を深めていただくことができました。



テーマ	講師	
ソーシング	村田祐介	インキュベイトファンド 代表パートナー / JVCA 理事
ディールストラクチャー	後藤勝也	AZX 総合法律事務所 Managing Partner CEO, 弁護士 / JVCA 顧問
コンプライアンス	菅原稔	AZX Professionals Group マネージングパートナー COO
デューデリジェンス (サービス系)	立岡恵介	グローバル・ブレイン株式会社 General Partner
	千葉貴史	Spiral Capital 株式会社 パートナー
デューデリジェンス (テクノロジー系)	山口泰久	株式会社 FFG ベンチャービジネスパートナーズ 取締役副社長 / JVCA オープンイノベーション委員会 地方創生部会 委員
	永田暁彦	リアルテックファンド 代表 / 株式会社ユーグレナ 取締役副社長 COO / JVCA 地方創生部会 委員
バリュエーション	安永謙	Global Hands-On VC / JVCA フェロー
投資先リーダーシップ (コーチング)	今野穂	グロービス・キャピタル・パートナーズ株式会社 代表パートナー / JVCA 理事
	菅原敬	株式会社 iSGS インベストメントワークス 取締役 代表パートナー / JVCA オープンイノベーション委員会 グローバル部会 委員
経営支援 (テクノロジー系)	井出啓介	株式会社東京大学エッジキャピタルパートナーズ パートナー
経営支援 (サービス系)	山岸広太郎	慶應イノベーション・イニシアティブ 代表取締役社長 / JVCA 常務理事
	田島聡一	株式会社ジェネシア・ベンチャーズ 代表取締役 / General Partner / JVCA 会長
	林龍平	株式会社ドーガン・ベータ 代表取締役パートナー / JVCA 常務理事
エグジット (M&A)	久保田朋彦	フーリハン・ローキー株式会社 エグゼクティブディレクター
エグジット (IPO)	仮屋 蘭聡一	グロービス・キャピタル・パートナーズ株式会社 共同創業パートナー / JVCA 最高顧問
ゲストセッション (プロフェッショナルとしてのVC)	赤浦徹	インキュベイトファンド 代表パートナー / JVCA 会長
	郷治友孝	株式会社東京大学エッジキャピタルパートナーズ (U-TEC) 代表取締役社長 CEO / JVCA 会長
	植波 剣吾	Beyond Next Ventures 株式会社
	村松 竜	GMO VenturePartners 株式会社 取締役 / ファウンディングパートナー
	湯浅エムレ秀和	グロービス・キャピタル・パートナーズ株式会社 パートナー

(敬称略・肩書は開催時点)

2023年中堅キャピタリスト研修 (春季: 3月9日~11日 秋季: 12月7日~12月9日)

春季は33名、秋季は35名の次代を担うリーダーの方々にご受講いただきました。第一線で活躍する先輩キャピタリスト・当該領域のスペシャリストを講師にお迎えし、講義・グループワークなどを通じて中堅としての必要なマインドセット・スキル・知識を学んでいただきました。全日程を通じて白熱した意見交換が行われ、学びを深めていただくことができました。



テーマ	講師	
キャピタリストのキャリア	丸山聡	StarshotPartners 合同会社 ベンチャーキャピタリスト / JVCA フェロー
コンプライアンス実務	大島怜	JP インベストメント株式会社 マネージングディレクター / JVCA 企画部 委員
投資契約	平野清久	大和企業投資株式会社 General Partner / JVCA 理事
リスクマネジメント	五嶋一人	株式会社リベリオンズ 代表取締役
バリュアップ (事業)	立岡恵介	グローバル・ブレイン株式会社 General Partner
バリュアップ (組織・人)	小野 社彦	グロービス・キャピタル・パートナーズ株式会社 GCP X Team Head
EXIT 戦略_IPO	村田祐介	インキュベイトファンド 代表パートナー / JVCA 理事
EXIT 戦略_M&A	久保田朋彦	フーリハン・ローキー株式会社 Corporate Finance Executive Director
講師セッション	仮屋 蘭聡一	グロービス・キャピタル・パートナーズ株式会社 共同創業パートナー / JVCA 最高顧問
	丸山聡	ベンチャーユナイテッド株式会社 ベンチャーキャピタリスト / JVCA VC ナレッジ部会 委員
	大島 玲	JP インベストメント株式会社 マネージングディレクター / JVCA 企画部委員
	五嶋一人	株式会社リベリオンズ 代表取締役

(敬称略・肩書は開催時点)

ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン室 活動報告 (2023/4/25、9/28)

<ダイバーシティ勉強会>

2023年9月28日に、2022年11月以来2回目となる「ダイバーシティ勉強会」を開催しました。ダイバーシティ・マネジメントやインクルーシブリーダーシップにお詳しいカレイディスト塚原月子氏を講師にお迎えし、我々VC業界にて、ダイバーシティを推進する意義ならびにVC・スタートアップがダイバーシティ経営を実現する上で必要なこと等についてご紹介いただきました。後半では、キャシー松井JVCA理事/D&I室長、仮屋園聡ーJVCA最高顧問も参加し、パネルディスカッションにて会員各社がD&Iを推進する上で考えるべきポイントや具体案についてゲスト4名(アーキタイプベンチャーズ伊能詩吹氏、ANRI佐俣アンリ氏、ソニーベンチャーズ土川元氏、ユニバーサルマテリアルズインキュベーター水谷有美氏)も交えて、議論を深めました。

<女性キャピタリスト向けメンタリング>

一般社団法人Tokyo Women in VCが実施している「TWVC メンターシッププログラム」への理事等JVCA関係者の数名の派遣を2023年4月より継続して実施しています。

<理事向け内部勉強会>

2023年4月25日に理事会メンバーに向けたダイバーシティ勉強会を実施しました。過去に実施したダイバーシティアンケートとそれに伴う個別ヒアリング、2022年11月に実施した初回ダイバーシティ勉強会の座談会での会員企業同士の情報交換から見てきた課題や今後取り組むべきことについて、理事一人一人の知識と重要性意識を高めました。



コンプライアンス勉強会 (2023/11/29)

JVCAは業界としてより一層の法令遵守とコンプライアンスに対する意識向上のためコンプライアンス勉強会を開催しております。

今回は「コンプライアンス勉強会～明日から取り組める、VCが最低限行うべきコンプラ対応～」と題して、前半は、森・濱田松本法律事務所様による近時のコンプライアンスアップデートについて解説いただき、特定投資家制度の理解、マネーロンダリングガイドラインへの2024年3月末までの対応や適格機関投資家等特例業者に対する行政処分事例などもご紹介いただきました。その後のパネルディスカッションでは、会員の皆様にご協力いただいたコンプライアンスアンケート結果の速報ご報告をもとに、ご登壇各社様のコンプライアンス体制、カバーしている法令や社内規程の整備状況、実施している研修やルールの社内周知について共有し、ファームの拡大・強化をしていくうえで何にどう取り組むかなどを共有いたしました。

アンケートご回答会社様にはアンケート結果を共有させていただきました。ご回答いただいた皆様にはご協力ありがとうございました。

<アンケート結果サマリー>

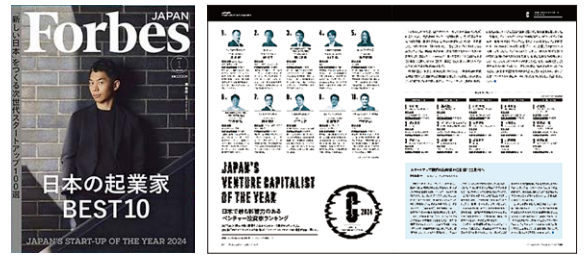
- ✓ 93%のVCでコンプライアンス担当者が置かれているが専任はその10%。多くがフロントおよびミドルバックとの兼任
- ✓ 法令対応については、50%以上のVCが金商法、犯収法、個人情報保護法、ハラスメント防止法をカバー
- ✓ 社内規程については、コンプライアンス、インサイダー取引、情報管理、投資委員会規程は、8割以上のVCで整備され、社内研修も、多くのVCがインサイダー取引防止、ハラスメント防止、情報管理に関する研修を実施している

JVCAでは今後も継続的にコンプライアンスに関する勉強会を行ってまいります。



Forbes JAPAN「最も影響力のあるベンチャー投資家ランキング」発表(2023/11/25)

Forbes Japan 1月号(2023/11/25発売)にて、米Forbesで毎年掲載している「The Midas List」の日本版「日本で最も影響力のあるベンチャー投資家ランキング」が発表されました。2022年11月から1年間のIPOおよびM&Aによるキャピタルゲインを対象としたランキングでは、1位は赤浦徹氏(インキュベイトファンド)、2位は堤達夫氏(STRIVE)、3位は郷治友孝氏(東京大学エッジキャピタルパートナーズ)となりました。調査にご協力いただいた会員企業の皆さま、誠にありがとうございました。



日経NEXTユニコーン調査(2023/12/7)

日本経済新聞社にて、日本の有望スタートアップ企業の実態を調査する「NEXTユニコーン調査」が実施されました。JVCAも協力し、2023年12月7日に調査結果が日本経済新聞、日本経済新聞電子版に掲載されました。会員企業様他より、ご推薦いただいた有望な未上場企業132社の情報をもとにランキングが行われ、7回目となる今回は企業価値が500億円を超えた企業が13社と前年から3社増える結果となりました。



政府省庁連携ならびに公的職務への対応

JVCA理事・委員が、政府省庁ならびに各種団体の委員会・会合に参加、意見表明をしております。

(主な活動)

- ・経済産業省 スタートアップ・ファイナンス研究会
- ・経済産業省 研究開発型スタートアップの無形資産価値の可視化に係る課題検討ワーキンググループ
- ・経済産業省 地域の中核大学等のインキュベーション・産学融合拠点の整備 審査委員会
- ・経済産業省 地域未来牽引企業 地域未来スペシャルアドバイザー
- ・経済産業省 中小企業のイノベーションの在り方に関する有識者検討会
- ・金融庁 インパクト投資等に関する検討会
- ・金融庁 金融審議会 市場制度ワーキング・グループ
- ・金融庁 資産運用に関するタスクフォース
- ・中小企業庁 中小企業のイノベーションの在り方に関する有識者検討会
- ・中国経済産業局 J-Startup WEST (中国) 企業選定委員会
- ・静岡県 スタートアップ支援戦略策定委員会

オフィス移転

日本ベンチャーキャピタル協会は2023年11月1日より新事務所に移転いたしました。
〒105-0001東京都港区虎ノ門5-9-1 麻布台ヒルズ ガーデンプラザB 5階
TEL: 03-6432-4667 FAX: 03-6432-4664

麻布台ヒルズには多くのVC・CVCが集結し、「Tokyo Venture Capital Hub」というラウンジもございます。

JVCA新オフィスはこのラウンジの一角に所在し、まさにVC・CVCのハブとしての機能を果たしていくこととなります。今後の勉強会・研修等のうちいくつかは、上記ラウンジを使用して行ってまいります。



事務局からのお知らせ

[1] JVCA理事会開催報告

JVCAでは、隔月で理事会を開催しており、2023年1月～2024年1月は下記日程で実施いたしました。
・2月28日 ・4月25日 ・7月14日 ・8月29日 ・10月24日 ・12月19日
48件の承認事項を審議し、37件の事項の報告を行いました。

また「政策提言」「協会運営」等について、理事による自由討議を行っております。

[2] 今後のイベント予定

- 産学連携・技術投資セミナー：2～3月頃
 - JVCAトップ懇談会：3～4月頃
 - 定例勉強会：3～4月頃
 - CVC/Open Innovation Forumフォローアップイベント：3～4月頃
 - VCパフォーマンスベンチマークセミナー：3～4月頃
 - CVC新規会員懇談会：5～6月頃
 - 定時会員総会：7月12日（金）午後～夜予定
（都合により変更となる可能性もございます。）
- ※上記イベントは対象者ごとにメールにてご案内しております。



[3] 各種変更のお手続きについて（会員情報管理システムのご案内）

2022年2月17日より、会員登録情報（会員種別・社名・住所・代表者・担当者など）を確認・変更いただける会員情報管理システムを導入いたしました。システム導入に伴い、以前は押印郵送をお願いしておりました変更届は不要となりました。また会員限定の各種ニュース、セミナー、イベント等をお知らせする配信先メールアドレスも当会員情報システム上で会員の皆様にて自由に変更いただけることとなりました。登録情報に変更が発生いたしましたら、下記JVCA会員サイトよりログインの上変更をお願いいたします。

◆JVCA会員サイト（マイページ）：<https://jvca-members.jp/member/login/>

※ログインID、パスワード不明等、会員情報管理システム利用にて不明な点があれば以下までお問い合わせください。
<お問い合わせ先> info@jvca.jp

[4] 臨時会員総会の御礼

2024年1月16日付招集通知で会員各社にお願い致しました、臨時会員総会につきまして、1月31日に開催し、議案についていずれも承認となり、閉会いたしました。

VC/CVC会員各社におかれましては、議決権行使につきご協力をいただきまして御礼申し上げます。

日本ベンチャーキャピタル協会 ニュースレター No.54

- 発行 2024年2月
- 発行 一般社団法人 日本ベンチャーキャピタル協会
- 編集 JVCA事務局
〒105-0001 東京都港区虎ノ門5-9-1 麻布台ヒルズ ガーデンプラザB 5階
□TEL: 03-6432-4667 □FAX: 6432-46648
□E-mail: jimukyoku@jvca.jp □URL: <http://www.jvca.jp>
（出社/リモートワークを併用しております。可能でしたらE-mailにてご連絡をお願いいたします。）

